

社協だより

たるい

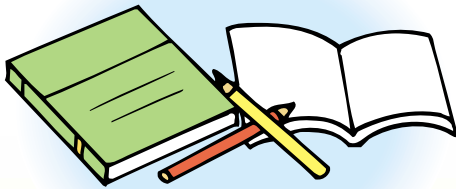
平成23年12月1日

編集発行
垂井町福祉会館内
垂井町社会福祉協議会
TEL 23-3335
FAX 22-2714



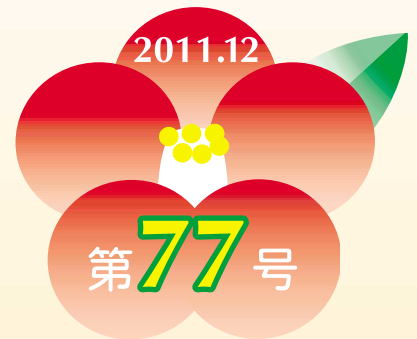
福祉講座

たくさんのご参加
ありがとうございました



おもな内容

- ふれあい垂井ピア2011に出展
- 赤い羽根共同募金
あたたかい善意のご寄付
ありがとうございました
- 中学生のワークキャンプ
- 東日本大震災義援金
ありがとうございました
- ひとり暮らし高齢者のつどい
- 心配ごと相談
- 手話教室
- 福祉講座
- 平成23年度 社協会費
ご協力ありがとうございました



垂井町社会福祉協議会のホームページアドレス <http://www.tarui-shakyo.jp>

この広報紙は、皆様からの会費と赤い羽根共同募金の配分により発行しています。

ふれあい垂井ピア2011に参加

11月5日、6日と朝倉運動公園で開催されました「ふれあい垂井ピア2011」に参加いたしました。

毎週福祉会館でフラダンスを楽しみながら介護予防に励んでいらつしやる「フラダンスを楽しもう」の皆さんによるフラダンスの披露の他、ボランティア団体の皆さんの協力のもと、ボランティア活動の紹介、福祉学習、非常食展示・試食等を行い、会場にお越しの方々と交流いたしました。社会福祉協議会・ボランティア連絡協議会の出展ブースはいろいろな催し物で多数の方においでいただきました。笑顔のたえないごやかな雰囲気の出展ブースとなりました。



「フラダンスを楽しもう」の皆さんによるフラダンス



ボランティア活動展示



アルファ米による炊き出し



ハイゼックスによる炊き出し



災害への関心がますます高まる中、非常食の展示や実演と試食を行いました。
垂井町赤十字奉仕団をはじめとするボランティア団体の皆さんのご協力のもと、ハイゼックスを使つての炊き出しとアルファ米を使つての炊き出しを行うとともにカンパンなどの展示・試食を行いました。

非常食の展示・実演

点字と手話の体験・学習

点字の体験・学習

栞には、思い思いのデコレーションもほどこされ、素敵な思い出の一品ができました。



今回の垂井ピアでは、はじめての試みとして点字や手話を体験・学習していただく機会を設けました。
点字の体験・学習の際には、ボランティアグループ・虹の会の皆さんにご協力いただき、自分の名前などを点字で打った栞づくりに挑戦していただきました。
一方、手話の体験・学習では、垂井町聴覚障害者福祉協会と手話サークル・泉の会の皆さんにご協力いただき、実際のコミュニケーションをおとして、あいさつや自己紹介などを学んでいただきました。

手話の体験・学習

聴覚障がいの方との実際のコミュニケーションによる生きた手話を学んでいただきました。



当日は、下記団体の皆さんにご協力をいただきました。

- 垂井町赤十字奉仕団
- ボランティアグループ・つばき会
- 手話サークル泉の会
- 福祉うさぎの会
- 虹の会
- 東地区生きがいサロンの会
- 垂井町聴覚障害者福祉協会

けやきの家も出展しました

垂井ピアには、地域活動支援センター「けやきの家」も出展しました。たくさんの方にお立ち寄りいただき、ありがとうございました。



フラダンスや童謡を一緒に楽しみませんか？

社会福祉協議会では、誰もがいつまでも健康で若々しく、くらしていけることを願って、「フラダンスを楽しもう」と「童謡を唄おう」の事業を展開しております。

開催日に福祉会館においていただき、お気軽にご参加ください。

ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。(電話 23-3335)



フラダンスを楽しもう

毎週水曜日、木曜日
午前9時30分～11時



童謡を唄おう

第2、第4水曜日
午後1時30分～3時

わたしの福祉体験 ふれあって学んだ福祉のこころ

中学生がワークキャンプに参加

夏休みを利用して開催いたしましたワークキャンプに町内の中学生の方々が参加されました。
北中生徒さんは8月10日にあゆみの家で、不破中生徒さんは8月18日にいぶき苑で利用者の方とのふれあいの中からたくさんさんの貴重な体験をされました。
ここでは、そんな貴重な体験をご紹介します。

あゆみの家

一日を通して

北中学校 三年 河野 沙季

私は今年あゆみの家のワークキャンプに初めて参加しました。知的障がいをもつ方とどの様な接し方をしたらいいのか分からず、体験する前からとても不安で緊張していました。

最初に、朝の会がありました。あゆみの家の利用者さんたちがたくさん集まっていて、急に大きな声をあげたり、歌を歌ったりする様子を見てみると、私はちゃんと今日一日この利用者さんたちとうまく関わったりお話をしたりすることができると、さらに不安になりました。あゆみの家に来る前よりも、障がいをもっている人と関わるといふ事が難しいこ

このように思えてきたのです。

私はあじさいグループになり、あじさいの部屋へ移動しました。移動時、あじさいの部屋がどこにあるのか分からなくて困っていると、利用者さんから私の手をつなぎ、あじさいの部屋へ連れていってくれました。利用者さんから私に関わってくれた事が嬉しくて、少しほっとしました。今度は私から話しかけたり、自分からも関わりたいと思いました。

その後もずっと緊張していましたが、利用者さん達とエアロビクスや仕事のお手伝いをさせてもらうなど、たくさん接していくうちに、私の不安な気持ちが少しずつ無くなっていきまし。利用者さんが私を受けとめてくれたことで私は安心しました。

一日の活動を通して、利用者さんや働いている人達は何をするにも一生懸命でした。その姿は、とても素敵だと感じました。また、

私は障がい者という人の見方、接し方を改めていきたいと思いましたが、私自身、利用者さんの行動から、とまどうこともありましたが、障がいをもっているという理由で接することを難しいと思いい、避ける事は間違っていました。私のことも笑顔で受けとめてくれる方たちの事を、私の方からもつと向き合つて受けとめ、関わつていけるようになりたいと思いました。



あゆみの家での 体験をおして

北中学校 三年 久世 茉佑

私は障がいのある方達と関わつたのは今回が初めてでした。この体験を通して私は、体のどこか

が不自由な身体障がいの方だけでなく、知的障がいという障がいをもっている人のことを知ることができました。私は、初めてのことでただで最初とても緊張していましたが、話をしっかり聞いて一つでも多く、学んで感じて帰つてこれるようになりたいと思つていました。

私はただの部屋で活動させてもらいました。部屋に入つてまずやらせてもらった仕事は、作業をするMさんの手を支えるということでした。職員の方が始めに、「自分だけだったらもつとできるのに...。そう思つても一人一人ペースがあるので、そのペースを大事にしてあげてください。」と言われました。私はその言葉を忘れず、今日一日の活動をしようと思つていました。でもMさんの手を下から支えているというのは思つていたよりも大変なことでした。うでが疲れてきたり、Mさんの手が止まってしまうと、間、なににもできずただ待っているのが辛かったです。

Mさんが釘を運ぼうと手を動かした時はすこくうれしくなりました。このMさんの作業をお手伝いさせてもらうという体験から、自分にも他の人にもみんなそれぞれにペースがあることを実際に体験して感じる事ができました。この一日の体験でみんなそれぞれのペースがあるので、私は一人一人のペースをこれからも大事にできるようにしたいと

思いました。

また、あいさつをしたとき、言葉ではなく笑顔で返してくださいの方がいました。言葉で返さなくても、その笑顔で、私の言葉は届いたのだと感じることができ、すこくうれしくなりました。

このように、今日一日の体験は私にとつとでもすばらしい勉強になりました。今日の体験を通して感じたことをいつも忘れずに生活していきたいです。

ふれあいをとめて

北中学校 一年 小林 美友

私がワークキャンプに参加して、一番心に残つたことは、利用者の方々の笑顔です。

私が一緒に活動をしたサポーターグループの作業は、釘を二〇本ずつ袋につめていったり、段ボールを線のところで折つたり、プラスチックのハンガーのシールをはがすことでした。私は、ハンガーのシールをはがす作業を手伝っていました。私は同じ作業ばかりで疲れてしまつたけれど、利用者の方々はたくさん量を、一生懸命に、そして楽しそうに仕上げていました。作業をしている時に、利用者の方から、

「犬と猫どちらが好きですか。」など、いろいろと話しかけてもらいました。私はとても嬉しく思いました。一緒に作業をしていく中で、色々な工夫がされているこ

とに気付きました。ハンガーのシールのネバネバを取るときには、ねりケシを使ってとる作業が一番印象に残りました。

そして、私が一番楽しく利用者の方々とお話することができたのは、エアロビクスの時間です。エアロビクスでは、利用者の方々とペアになって曲に合わせて楽しく身体を動かすことができました。また、少しだけでしたが、お話をする機会もありました。どの利用者の方も優しい笑顔を浮かべていたことが大変印象に残りました。

このワークキャンプを通して、障がいとは個性の一つである、何が苦手なだけだということが分かりました。そして、一人一人に得意なことがあるということも知りました。苦手なことがあっても得意なことを生かしていける社会、そんな場所がこれからもっと増えていくといいなと思います。

「あゆみの家」を訪問して

北中学校 一年 高木 風奈

私は「あゆみの家」に訪問させていただいたのは今回が初めてで、とても緊張しました。朝の会の時の自己紹介では、緊張して、小さな声でしか話せませんでした。

私が担当した方は、知的障がいのあるAさんでした。私は、Aさんと缶つぶしの仕事をしました。まずAさんが、スイッチを押して機械で缶をつぶします。たまに缶が機械にはさまることがあるので缶をとったり、缶を並べたり、どれくらい缶をつぶしたのか重さを計るのが私の仕事でした。

始めにAさんは、話すことは苦手だけど、人の話を理解できることを聞きました。しかし、午前は緊張していて、Aさんと会話はうまくできませんでした。また、先生にも

「声をかけながらAさんと作業するといよ。」
「と言われました。しかし、缶が機械にはさまった時、私ははずしから、Aさんに一度も声をかけずに、いきなり電源を切っていました。」

午後になり、午前の仕事の続きをしました。
先生は、

「声をかけながらAさんと作業するといよ。」
と言われた言葉を思い出し、機械の電源を切る時、勇気をだし、「電源切りますよ。」と、声をかけることができました。

そして、一日で九・八キログラムごみ袋五袋分の缶をつぶすことができました。

私は、午前は声をかけることがあまりできずに暗い空気だと感じていました。でも声をかけていると、空気が明るくなっていた気がします。だから、はずか

がらずに声をかける勇氣を持ち続けていきたいです。私はこの一日を通して、勇氣をだし、声をかけると、親しみやすくなるので声をかけることはとても大事なことで学びました。

いぶき苑

ワークキャンプに参加して

不破中学校 一年 草野 はるか

ワークキャンプに参加して、最初はとても緊張していたけれど、終わってみるとあつあつという間でした。そして、もうと利用者様と話をするなど交流したかったなと思います。でも学んだことはたくさんありました。

食事については、飲みやすくするためにとろみをつけたり、ゼリー状にしてあったり、食べやすくするために、スプーンもいろいろな形が用意されていました。私はそれを見てとても工夫されているんだなと思いました。

車いすの説明では、両手を使うて動かす人、片手を使って動かす人、寝たきりの人など、いろいろな人が使えるように、たくさん種類があるということが分かり、工夫もされていることが分かりました。車いすは乗っている人を見ると簡単そうだったけれど、実際に乗ってみると想像していたより難しかったです。押す時

は曲がる時に小さく曲がってしまいい、他の人とあたらしてしまつたので、もっと大きく曲がったほうがいいんだなと思いました。

手遊び介助ではたくさんご利用者様と交流することができました。一緒に手を叩いてくれる人もいれば、手をつないでくれる人もいて嬉しくなり、みんな笑顔だったので私も自然と笑顔になりました。

一日活動しているいろいろなことを学んだけれど、すべて利用者様が使いやすいように工夫されているし、安全に生活ができるように考えられているんだなと思いました。

ワークキャンプに参加して

不破中学校 一年 高島 慶

今日、私がワークキャンプに参加して一番楽しかったことは介護用品の利用実習です。車いすに乗ったり、押したり、食品の試食をしたりして、今後に活用できるとでした。

うれしかったことは、手遊び介助のときに、私が手拍子をしているとまねをして、一緒にやってくれたり、
「一緒にいかがですか。」と声をかけたら、
「ありがとつ」と言っていて、一緒に手遊びをしてくれたことです。

最初は、参加していなかった人が、何回も何回も声をかけるうちに、手拍子をしたり、歌を歌

たりしてくれたのでとてもうれしかったです。

そして、心に残ったことは、休憩のときに私達が利用者様へ話しかけていくと、いろいろな話をしてくれたことです。私たちの体調について話してくれたので、とても優しいなと思いました。

そして、また優しいなと思つことがありました。休憩のとき、利用者様から呼ばれたり、声をかけられたりしたことです。

今回、貴重な体験ができてとても良かったです。利用者様とふれ合え、話せたことが一番良かったです。来年も、ワークキャンプがあれば、進んで参加をしたいと思ひました。
貴重な体験ができて良かったです。



ワークキャンプに参加して

不破中学校 一年 松浦 那保

老人ホームにいる人達は、笑顔でやさしく話しかけてくれました。

ワークキャンプに参加して、色々な事を得る事ができました。色々な活動をやらせてもらった中でも特に一番心に残った事は、老人ホームにいる人達といっしょにやったり、手遊びです。私がいっしょにやってみて楽しかっただけでなく、私を利用者様の前でやったりした時、最初は笑顔ではなかった人もいたけど、私が笑顔で接すると、利用者様も笑顔で話しかけてくれた事です。その笑顔を見て、このころまで笑顔になれました。それにかえて、温かい気持ちになりました。老人ホームにいる利用者様は、お互いに支え合って生活をしていて、楽しそうでした。老人ホームは、笑顔であふれていました。だから、こんなにも元気がだし、楽しそうだったんだなと思いました。ワークキャンプに参加して、良かったと思います。色々な事を学べたと思います。このように貴重な体験をたくさんさせて頂いたので、これから学んだ事をこれからの生活にかしていきたいです。



ワークキャンプに参加して

不破中学校 一年 山口 詩珠久

私は、ワークキャンプに参加しました。なぜ参加したかというところ、将来に人の役に立つ仕事をしたいと思ったからです。

一番勉強になったのは、車椅子の体験です。車椅子に乗せてもらって自分で動かすとうまく曲がらず、足を使えるという事は、ごく便利だと私は思いました。また、車椅子を押すのは簡単ですが、坂道を下りる時はバックで下りたり、すこしの段差でも上がれないので苦労しました。思っていた以上に車椅子はたいへんだったので、車椅子の方で困っていたら助けたいと思いました。

もう一つ勉強になったことがあります。それは、手遊び介助です。それは、利用者様と手遊びをすることです。利用者様で、手が動かせなかったりする人がいます。しかし、目を見て話すと、すごく喜んでくださったり、歌のリズムに合わせて、体を少し動かしてくださる人がいました。すごく嬉しかったです。あとその中で話をすると、すごく楽しんでくださり、利用者様とたくさん話をすることができました。

ワークキャンプに参加して、学校ではできない体験ができてよかったと思います。あといろいろな体験ができて、たいへんなどが分かりました。この体験を通して、これからの将来の中でも役立つことなのだと思います。私はワークキャンプに参加してよかったです。ありがとうございます。

第29回 手話教室

楽しく学んでいただけました

今年の手話教室は、8月17日から10月19日までの毎水曜日に全10回のコースで開催いたしました。

受講生の方々は、毎回熱心に参加され、手話の腕前もかなり上達されました。

開催には、町聴覚障害者福祉協会、手話サークル・泉の会の皆さんにご協力いただきました。

コミュニケーションとしての生きた手話のほか、聴覚障がいの方の日々の生活の様子なども学ばれました。



ひとり暮らし高齢者のつどい

お久しぶりです。お元気でしたか？

11月16日、垂井町文化会館においてひとり暮らし高齢者のつどいが開催されました。

今回は、海津市レクリエーション協会の小山治代さんにおいでいただき、うたったり、遊んだりしながらの健康づくりについて教えていただきました。

この日は、ボランティアグループ「つばき会」の皆さんにご協力いただきました。

小山さんご指導のもと皆さんで手遊び



つばき会の皆さん



この事業は岐阜県共同募金会(歳末たすけあい)の配分を受け実施しました。

福祉講座

誰もが住み慣れたまちで、いつもまでも安心して暮らせるまちづくりの小さなきっかけとなることを願って、福祉やボランティア活動に関する知識を深めていただくための講座を開催しました。

傾聴ボランティア養成講座（9月2日、9月7日）

講師：大野町・傾聴ボランティア「わかば」

吉田 弘平さん(代表) 森 繁博さん
真鍋 育夫さん 高田 恵美子さん
福井 むつ子さん 西尾 幸子さん
東 和子さん (順不同)

昨年の福祉講座でもご協力いただきました大野町・傾聴ボランティア「わかば」の皆さんに、今年度もご指導いただきました。

今年度はより一歩進んだ、活動の実践につながるような内容で2日間にわたり講義を進めていただきました。

傾聴ボランティア活動の基本に関する講義の後、グループに分かれてロールプレイングによる、傾聴ボランティア活動のトレーニング法を体験しました。

傾聴ボランティア活動の実践には、何より、日ごろのロールプレイングの積み重ねが大切ということで、熱心にご指導いただきました。

受講された皆さんには、傾聴ボランティア活動について理解を深めていただくことができました。

今後は町内においてもこのような傾聴ボランティア活動が活発となることを願っております。



ボランティアに役立つレクリエーション（9月9日）



講師：(公財)日本レクリエーション協会公認
レクリエーション・インストラクター

だれでもあしあと 代表
浅野 綾子さん

ふれあいサロンや福祉施設訪問などのボランティア活動の場面で役立つようなレクリエーションの知識や技術について、ご指導いただきました。

身近にあるものや、100円均一ショップで簡単に手に入るものなどを活用してのレクリエーションの方法を教えてくださいました。

会場は終始、和やかな雰囲気に入れられ、あっという間に講座の予定時間が過ぎてしまいました。

受講者の中には、早速、この日学んだレクリエーションを自らのボランティア活動で実践された方もいらっしゃったようで、非常に実りある講座となりました。

みなさまからの会費は社協の貴重な財源です

平成23年度社協会費へのご協力ありがとうございました



社会福祉協議会は、みんなが幸せに暮らせるまちづくりを願う会員で組織されています。お互いに支え合い助け合う組織として、一般会員、特別会員、施設会員、賛助会員により構成されています。

平成23年度の会費につきましては、自治会長さんをはじめ、町内のみなさまのご理解とご協力を賜り、11月15日現在 **5,100,000円** の会費を納入いただきました。ありがとうございました。

みなさまからの会費の使いみち

会員のみなさまから納入されている会費は、福祉のまちづくり活動事業等に大切に使われています。

法人運営事業

理事会、評議員会等

企画広報事業

社協だよりの発行
社会福祉大会の開催

助成事業

福祉協力校
(小学校、中学校、高等学校)活動への助成

福祉活動事業

福祉推進員活動、福祉講座、ワークキャンプ、ヘルストロン設置事業(各地区公民館、老人福祉センター、福祉会館)、福祉機器無料貸出(ベッド、車いす)、ボランティア活動事業、地域福祉事業、手話教室の開催、各ボランティア団体活動助成、給食サービス、介護予防事業、子育て支援事業、生活福祉資金貸付事業など



車いす



ヘルストロン



ベッド

みんなが幸せに暮らせるまちづくり

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づき設置された町民(会員)主体の社会福祉活動を推進する民間組織です。

地域に暮らすみなさまのほか、民生委員・児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加や協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動をおこなっています。

その内容は多岐にわたり、各種の福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、全国的な取り組みから地域の特性に応じた活動にいたるまで、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。

垂井町社会福祉協議会は、昭和50年3月31日に社会福祉法人の認可を得て、同年6月28日から法人としての団体活動をしています。

賛助会費、施設会費にご協力をいただいた法人・団体をご紹介します

(平成23年11月15日現在)

町内自治会等をとおしてご協力いただいております一般会費、特別会費の他に、法人・団体の方々には、賛助会費、施設会費募集にご協力いただいております。



会費総額	5,100,000円
一般会費	3,658,000円
特別会費	57,000円
施設会費	80,000円
賛助会費	1,305,000円

平成23年度賛助会員・施設会員(順不同・敬称略)

(株)大垣共立銀行垂井支店
 (有)栄クリーニング店
 カワウチM.R(株)
 クゼ工務店(株)
 (有)サニーワーク
 高木建設(株)
 (株)タワダ
 (株)ドリームメンテナンス
 日新興業(株)
 ユニチカ(株)垂井事業所
 和田内科胃腸科
 あいにはら医院
 コーケン産業(株)
 (株)近藤板金店
 (株)大計建設
 株式会社東海興産
 (有)ニュー不破モータース
 (株)松栄工務店
 (有)ヨシダカーテン
 吉田木材株式会社
 (有)山元産業
 平成興産(株)
 不破R・C
 株式会社服部精工
 日本プライメタル株式会社
 垂井燃料(株)
 (株)西濃調理
 (株)新晃
 (有)エスピーカーサービス
 (有)エガミオート
 スイトラベル(株)
 株式会社旭クワイ
 (株)岩田組
 いすゞ自動車東海北陸株式会社

(有)桐建
 高和工業株式会社
 (株)サンホーム
 (株)ヤナギ園芸
 垂井町民生委員児童委員協議会
 (株)メカニック
 (株)室建工
 (有)宮川鉄工所
 (株)松井組
 不破医院
 西美濃農業協同組合垂井支店
 有限会社慈鶏園
 (有)児玉工業所
 (有)現金屋燃料店
 協和工業(株)
 (株)大脇組
 (株)エイワ
 医療法人清澄会不破ノ関病院
 垂井西濃集配株式会社
 (株)イシキ
 (株)カジケイ鉄工
 (株)郷鉄工所
 (株)酒井工務店
 (医)安田医院
 (医)社団永仁会
 中央タイヤ(株)
 特定・特別医療法人博愛会
 株式会社マルセパン
 中山産業(株)
 株式会社中山サンコー
 (株)ユニチカゴルフイング垂井
 石川設電株式会社
 岐阜県西部電気工業協同組合
 鹿野管工(株)

(有)伊藤鉄工所
 小野工業所(株)
 株式会社カサイ
 株式会社太陽金属工業
 日豊化成(株)
 (株)平塚建設工業
 古井医院
 クレプラスチックス(株)伊吹工場
 スギケー精工(株)
 垂井樹脂(有)
 トンボショップメリー店
 シャディギフト館エムアート
 岐菱商事
 (株)工和製作所
 ひばり薬局
 藤井建設(株)
 平野化工(株)
 (株)ハシモト電気
 (有)伊藤木材工業
 はくあい内科クリニック
 (株)槌谷栗原工場
 オムニテクノ(株)
 三星磁業(株)
 (資)垂井日之出印刷所
 (有)多和田鉄工建築
 ナニワ企業株式会社
 三甲株式会社
 東海労働金庫垂井出張所
 やまざきキッズクリニック
 ダイゼン工業(株)
 (有)上田商事
 株式会社十六銀行垂井支店
 株式会社朱竹
 (株)桐山工務店

(有)松井商会
 (株)ソーワ
 (有)高木工務店
 (株)三谷建設
 ヤマキ瓦産業(株)
 うえだ歯科
 鳥居運送(株)
 (合資)三扇製作所
 (株)安田工業
 株ユニチカ環境技術センター岐阜営業所
 古川医院
 ワコー化成(株)
 (株)フードセンター富田屋
 株式会社杉山製作所
 株式会社新和建設
 (有)八百清燃料店
 新興鋳物(株)
 株式会社伊吹興産
 垂井ホンダ
 株式会社サンレール
 (株)サンワーク
 西濃設備工業(株)
 (有)八百清商店
 (有)吉田工業所
 (株)ゼンショー
 特別養護老人ホームいぶき苑
 西濃清風園
 垂井町保育園8園
 老人福祉センター
 グループホームだいわ福寿の杜
 第二あゆみの家
 デイセンターあゆみの家
 特別養護老人ホームゆのきがわ
 介護老人保健施設あいかわ

「じぶんの町を良くするしくみ」

～赤い羽根共同募金運動～



10月1日から12月31日まで「じぶんの町を良くするしくみ」をテーマに赤い羽根共同募金が展開されています。

10月1日には、垂井駅他5カ所で街頭募金を行いました。

また、11月5日、6日に開催されましたふれあい垂井ピア2011会場においてもご協力をお願いいたしました。



皆さまからのあたたかい募金は、岐阜県共同募金会を通じて、社会福祉施設、社会福祉団体、住民参加福祉サービス団体、地域福祉活動等にに使わせていただいています。

心配ごと相談

利用は無料です。お気軽にご相談ください。

場所...垂井町福祉会館2階相談室

時間...午後1時から午後4時まで

	12月	1月	2月	3月
第1水曜日	7日	4日	1日	7日
第2水曜日	14日	11日	8日	14日
第3水曜日	21日	18日	15日	21日
第4木曜日 法律相談、予約必要	22日	26日	23日	22日
第4土曜日 (結婚相談)	24日	28日	25日	24日

あたたかい善意のご寄附 ありがとうございました

不破郡労働者福祉協議会様 22,582円
岐阜県理容組合不破支部様 タオル
匿名様 100,000円
匿名様 DVD
匿名様 100,000円

東日本大震災義援金への ご協力ありがとうございます

日本赤十字社及び岐阜県共同募金によります東日本大震災義援金には、皆さまからあたたかいお気持ちを寄せていただきありがとうございました。

被災状況の甚大さ等の理由から、募集期間が平成24年3月31日まで延長されました。

引き続き義援金を募集いたしておりますので、今後とも皆さまのご協力をよろしく願いいたします。

これまでにお寄せいただいた

義援金総額 19,445,045円

(平成23年11月15日現在)

編集後記

今年ももう12月です。今年の夏は異常な猛暑続きでしたが、日に日に寒くなってきました。

今年も、新型インフルエンザが流行しています。「新型インフルエンザにかからない、うつさない」ために、手洗い・うがい・マスクの着用を心がけましょう。

元気で初詣にでかけられますよう、お体に気をつけてお過ごし下さい。



この印刷物は、グリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。



この広報紙は再生紙を使用しています。